



暑い日が続きますが、田畑に目を向けると夏野菜が彩りよく実っています。上岩雑穀畑を始めとする雑穀栽培見本園でも出穂を向かえ、稔りが待ち遠しいです。

植物と人々の博物館では、植物標本・民具・文献資料や書籍の収蔵・整理を続け、連携しているタイ・日本自然クラブに関する展示の再開も予定しています（下段写真：最近の整理状況）。森とむらの図書室（<https://www.milletimplic.net/forestvil/forestvil.html>）として総計 8,000 点ほどの資料・書籍になる見込みです。選別・整理（リスト作りや番号貼りなど）に引き続きご協力頂けると嬉しいです。これらの社会的共通文化財をぜひ多くの方がご利用くださり、将来には公共の場所を確保し、広く公開・活用できる形へ繋げたいと考えています。電子書籍の記録も随時更新していますので、植物と人々の博物館公式 HP（<http://www.ppmusee.org>）をご訪問下さい。民族植物学ノオト第 18 号の発行も予定しておりますので、ご意見などを自由にお寄せください（原稿締切：2024 年末）。

・自然文化誌研究会（東京学芸大学冒険探検部）は来年 2025 年に創立 50 周年を迎えます。今までの活動履歴を示す資料集をまとめており、下記で一部公開を始めています。

<https://www.milletimplic.net/archives/historyinch2025.html>

・第 35 回日本環境教育学会大会（江戸川大学、2024 年 8 月 29 日～9 月 1 日）において、研究員が関連する一般口頭発表と自主課題研究が予定されています。関連の方々は、是非会場でご議論下さい。

8 月 31 日（土） 口頭発表（対面）10:00～10:15

31B04 幼小接続期の教育課程における「食環境教育」の可能性（井村礼恵）

31C04 環境学習による心の構造と機能の文化的進化（木俣美樹男）

9 月 1 日（日） 自主課題研究（対面）15:30～17:30

212 講義室 自主課題研究② 希望を創る環境学習を求めて（代表 木俣美樹男）

最新情報は大会 HP（<https://www.jsfee.jp/members/meeting/113-annual-meeting/601>）をご確認下さい。

この他にも博物館研究員の学びを中心とした（一般参加希望者には一部 zoom 公開）環境学習セミナーを再開する案が出ています。また詳細が決まりましたら、メルマガなどでお知らせします。

